

Job

Chapter 24

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

לֹא- (יִדְעוּ) | וַיִּדְעוּ | עֵתִים | נִצְפְּנוּ | לֹא- | מְשֵׁרֵי | מִדּוּעַ | 1
ない (知る-者-たちは) | [知る-者-たちは] | 時-は | 隠されていないのか | ない | 全能者-から | なぜ
H3808 | H3045 | H3045 | H6256 | H6845 | H3808 | H7706 | H4069
יָמָיו: | תָּזוּ |
その-日-を | 見ない
H3117 | H2372

なにゆえ、全能者はさばきの時を定めておかれぬのか。なにゆえ、彼を知る者がその日を見ぬのか。

וַיִּרְעוּ: | גָּזְלוּ | עֲרַר | יִשְׁגּוּ | גְּבֻלוֹת | 2
そして-飼った | 奪った | 羊の群れ-を | 動かす | 境界-を
H1497 | H5739 | H5381 | H1367

世には地境を移す者、群れを奪ってそれを飼う者、

: אֶלְמָנָה | שׂוֹר | יִחְבְּלוּ | יִנְהֲגוּ | יְתוּמִים | חֲמֹר | 3
寡婦-の | 雄牛-を | 取り上げた-質-に | 追い立てた | 孤児-たちの | ろば-を
H0490 | H7794 | H3490 | H2543

みなしごのろばを追いやる者、やもめの牛を質に取る者、

: אֲרָץ | עֲנִיִּי | חֲבָאֵי | יַחַד | מַדְרָךְ | אֲבִיוֹנִים | יִטּוּ | 4
地-の | 貧しい-者-たち-は | 隠れた | 共に | 道-から | 貧しい-者-たち-を | 追いやった
H0776 | H6035 | H2244 | H1870 | H0034 | H5186

貧しい者を道から押しよける者がある。世の弱い者は皆彼らをさけて身をかくす。

לֶטְרַף | מְשַׁחֲרֵי | בְּפִעֲלָם | יֵצְאוּ | בְּמִדְבָּר | וּפְרָאִים | הֵן | 5
糞-を | 求める-者-として | その-働き-の-中-で | 出て行く | 荒野-の-中-で | 野ろば-の-ように | 見よ
H2964 | H7836 | H6467 | H3318 | H6501 | H2005
: לְנַעֲרִים | לֶחֶם | לוֹ | עֲרֵבָה | 6
若者-たち-の-ための | パン-である | 彼ら-には | 荒野-が
H5288 | H3899 | H6160

見よ、彼らは荒野における野ろばのように出て働き、野で獲物を求めて、その子らの食物とする。

: יִלְקְטוּ | רָשָׁע | וְכֹרֵם | (יִקְצְרוּ) | [יִקְצְרוּ] | בְּלֵילוֹ | בְּשָׂדֵה | 6
落ち穂-を-拾う | 悪しき-者-の | そして-ぶどう畑-で | (刈り取る) | [刈り取る] | その-飼い葉-を | 野-で
H3953 | H7563 | H3754 | H1098

彼らは畑でそのまぐさを刈り、また悪人のぶどう畑で拾い集める。

: בְּקֶרֶה | כְּסוּת | וְאֵין | לְבוּשׁ | מִבְּלִי | יִלְיִנוּ | עָרוֹם | 7
寒さ-の-中-に | 覆い-は | そして-ない | 衣-が | ない-まま | 過ごす | 裸-で
H7135 | H3682 | H0369 | H3830 | H1097 | H6174

彼らは着る物がなく、裸で夜を過ごし、寒さに身をおおうべき物もない。

: צוּר | חֲבָקוּד | מִחְתָּה | וּמִבְּלִי | יִרְטְבוּ | הָרִים | מִזְרָם | 8
岩-を | 抱きしめた | 避け場-が | そして-ない-まま | 濾れる | 山-の | 山-の-雨-で
H6697 | H2263 | H4268 | H1097 | H7372 | H2022 | H2230

彼らは山の雨にぬれ、しのぎ場もなく岩にすがる。

יִחְבְּלוּ: עָנִי וְעַל- יָתוֹם מְשָׁד יִנְזְלוּ 9
取り上げた-質-を 貧しい-者-の そして-上-に 孤児-の 乳房-から 奪った
H6041 H5764 H3490 H1497

(みなしごをその母のふところから奪い、貧しい者の幼な子を質にとる者がある。)

עָמָר: נִשְׂאוּ וְרַעֲבִים לְבוּשׁ בְּלִי הָלְכוּ עָרוֹם 10
束-を 運んだ そして-飢えて 衣-が ない-まま 歩いた 裸-で
H5375 H7457 H3830 H1097 H1980 H6174

彼らは着る物がなく、裸で歩き、飢えつつ麦束を運び、

וַיִּצְמְאוּ: דָּרְכוּ יִקְבִים יִצְהִירוּ שׁוֹרְתָם בֵּין 11
そして-渴いた 踏んだ 酒ぶね-を 油-を-絞る その-壁-の 間-で
H6770 H1869 H3342 H6671 H0996

悪人のオリブ並み木の中で油をしぼり、酒ぶねを踏んでも、かわきを覚える。

תִּשְׁעַתְּ חֲלָלִים וְנַפְשׁ- יִנְאָקוּ וּמָתִים מְעִיר 12
助け-を-求める 傷ついた-者-たちの そして-魂-が うめく 死にゆく-者-たち-が 町-から
H7768 H5315 H5008 H4962
תַּפְּלָה: יְשִׁים לֹא- יֵאלֹוֹהַ 13
不法-を 求めない ない そして-神-は
H8604 H3808 H0433

町の中から死のうめきが起り、傷ついた者の魂が助けを呼び求める。しかし神は彼らの祈を顧みられない。

יָשְׁבוּ וְלֹא דַרְכֵי הַקִּירוֹ לֹא- אֹר לְבַמְדֵּי- הָיָה וְהָמָה 13
とどまらない そして-ない その-道-を 認めない ない 光-に 反逆する-者-で である 彼ら-は
H3427 H3808 H1870 H3808 H0216 H4775 H1961 H1992

בְּנֵיבְתָיו:
その-小道-に

光にそむく者たちがある。彼らは光の道を知らず、光の道にとどまらない。

יָהִי וּבַלַּיְלָה וְאֶבְיוֹן עָנִי רוֹצֵחַ יִקְטֹל- יִקָּם לְאוֹר 14
なる そして-夜-には 乏しい-者-を 貧しい-者-と 殺す 殺人者-が 立ち上がる 光-の-もとで
H1961 H3915 H0034 H6041 H6991 H7523 H0216

כְּנָב:
盗人-の-ように
H1590

人を殺す者は暗いうちに起き出て弱い者と貧しい者を殺し、夜は盗びととなる。

עֵינַי תִּשְׁרֶנֶי לֹא- לְאִמֹר נֶשֶׁף שְׂמָרָה וְנֹאֵף וְעֵינַי 15
目-は 見る-わたし-を ない 言って 夕暮れ-を 見張った 姦通者-の そして-目-は
H7789 H3808 H0559 H5399 H8104 H5003

יְשִׁים: פָּנִים וְסִתָּר
置いた 顔-の そして-覆い-を
H6440

姦淫する者の目はたそがれを待って、『だれもわたしを見ていないだろう』と言い、顔におおう物を当てる。

אֹרֶךְ יָדְעוּ לֹא לָמוּ חֲתָמוּ יוֹמָם בְּתֵימָה בַּחֲשֵׁךְ חָתַר 16
 光-を 知らない ない 自分-たち-を 封じこもった 昼-には 家-を 闇-の-中-で 掘り破った
[H0216](#) [H3045](#) [H3808](#) [H2856](#) [H3119](#) [H2822](#) [H2864](#)

彼らは暗やみで家をうがち、昼は閉じこもって光を知らない。

צִלְמוֹת בְּלֵהוֹת יָכִיר כִּי צִלְמוֹת לָמוּ וַיַּחְדְּוּ בְּקָרָה כִּי 17
 死の-影-の 恐怖-を 知っている なぜなら 死の-影-である 彼ら-には 朝-は 共に なぜなら
[H6757](#) [H1091](#) [H6757](#) [H1242](#)

彼らには暗黒は朝である。彼らは暗黒の恐れを友とするからだ。

אֲפֹה לֹא בְּאֶרֶץ חֲלָקְתָם תִּקְלָל מַיִם פְּנֵי-עַל-וְהוּא קָל- 18
 向かない ない 地-の-上-で その-分け前-は 呪われている 水-の 面-の 上-の 彼-は 軽い
[H6437](#) [H3808](#) [H0776](#) [H7043](#) [H4325](#) [H6440](#) [H1931](#) [H7031](#)
 כְּרָמִים דֶּרֶךְ
 ぶどう畑-の 道-へ
[H3754](#) [H1870](#)

あなたがたは言う、『彼らは水のおもてにすみやかに流れ去り、その受ける分は地でのろわれ、酒ぶねを踏む者はだれも彼らのぶどう畑の道に行かない。

חַטָּאוּ שְׂאוֹל שֶׁלֶג מִיַּמַּיִם יִגְוְלוּ חֶם גַּם-צִיָּה 19
 罪-を-犯した-者-を 陰府-が 雪-の 雪解け水-を 奪い取る 熱-が また-は 日照り-と
[H2398](#) [H7585](#) [H7950](#) [H4325](#) [H1497](#) [H2527](#) [H1571](#) [H6723](#)

ひでりと熱さは雪水を奪い去る、陰府が罪を犯した者に対するも、これと同様だ。

וַתִּשְׁבֶּר וַיִּזְכֹּר לֹא עוֹד רִמְיָה מֵתִקֵּן וְלֶחֶם יִשְׁכַּחְתָּהוּ 20
 そして-折られる 思い出されない ない もはや 蛇-には 甘い 母-の-胎-が 忘れる-彼-を
[H7665](#) [H2142](#) [H3808](#) [H5750](#) [H7415](#) [H4988](#) [H7358](#) [H7911](#)
 עוֹלָה כְּעֵץ
 不義-は 木-の-ように
[H6086](#)

町の広場は彼らを忘れ、彼らの名は覚えられることなく、不義は木の折られるように折られる』と。

יֵיטִיב לֹא אֲלֻמְנָה תֵּלֵד לֹא עֲקָרָה רָעָה 21
 善くしない ない そして-寡婦-に 産まない ない 不妊-の-女-を 食べ物にする
[H3190](#) [H3808](#) [H0490](#) [H3205](#) [H3808](#) [H6135](#)

彼らは子を産まぬうまずめをくらい、やもめをあわれむことをしない。

בְּחַיֵּינוּ נֶאֱמִין וְלֹא-יָקוּם בְּכֹחוֹ אַבְיָרִים וּמִשָּׁד 22
 命-を 信じない そして-ない 立ち上がる その-力-で 強き-者-たち-を そして-引きずり出す
[H0539](#) [H3808](#) [H0047](#) [H4900](#)

しかし神はその力をもって、強い人々を生きながらえさせられる。彼らは生きる望みのない時にも起きあがる。

דְּרִכְיָהִם עַל-יְעִינְיָהוּ וַיִּשְׁעַן לֵבָשֶׁחַ לּוֹ יִתֶּן 23
 その-道-の 上-に そして-その-目-は そして-寄りかかる 安全-を 彼-に 与える
[H1870](#) [H8172](#) [H0983](#) [H5414](#)

神が彼らに安全を与えられるので、彼らは安らかである。神の目は彼らの道の上にある。

יִקְפָּצוּן כָּכֵל וְהִמְכֹּר וְאֵינּוּ וּמֵעַט רֹמוֹ 24
 引き縮む すべて-の-ものの-ように そして-低く-される そして-い-なくなる 少し-の-間 高められた
[H7092](#) [H3605](#) [H4355](#) [H0369](#) [H4592](#) [H7426](#)

יִמָּלוּ: וְכִרְאֵשׁ שֶׁבֶלֶת
 切り取られる 穂-の そして-頭-の-ように

彼らはしばしば高められて、いなくなり、ぜにあおいのように枯れて消えうせ、麦の穂先のように切り取られる。

לֹא וַיִּשֶׁם יִכְזֹּבְנִי מִי אִפּוֹ לֹא וְאִם- 25
 無-に そして-する-のか 嘘とする-のか-わたし-を 誰-が さあ ない-なら そして-もし
[H0408](#) [H3576](#) [H4310](#) [H0645](#) [H3808](#)

ס מִלְּתִי:
 セラ わたしの-言葉-を
[H4405](#)

もし、そうでないなら、だれがわたしにその偽りを証明し、わが言葉のむなしいことを示しうるだろうか」。